



寄島小学校5年生のアッケシソウ観察



一般公開でA地区のアッケシソウを見学する観覧者



浅口清掃センター社員の草刈り、刈草回収作業



# アッケシソウ通信

第12号

令和4年10月



刈草回収を終えて笑顔のおかやま山陽高校生徒の皆さん



おかやま山陽高校生徒の作業後の整列風景



C地区アッケシソウを青佐山バックに観る



A地区アッケシソウを展望台から観る

# 「アッケシソウ通信」第十三号に よせて

浅口市長 栗山 康彦

平素より市行政に多大なるご理解と協力を賜わり、心より御礼申し上げます。また、貴会におかれましては、貴重なアッケシソウを日々、愛情深く見守ってくださり心より感謝申し上げます。

自然災害などによる海水が、植物等に被害を与えることはよく知られています。アッケシソウは、海水に近い塩濃度を最適な生育条件としているおもしろい植物です。さらに、緑色の茎、白い花、秋には紅葉と、色の変化を楽しませてくれ、こうした美しさも魅力の一つでしょう。

昨年、貴会は岡山県で初めて、公益社団法人環境生活文化機構の「持続可能な社会づくり活動表彰（生物多様性保存活動賞）」を受賞されたとの報告をいただきました。約二十年に渡る献身的な活動が評価されたものと思います。近年はコロナ禍のため、満足のいく活動ができていないと言いはない状況だと思いますが、「今後さらに盛り上げたい」と言うお言葉もあり、心強い限りです。

貴会発足後、皆様方の活動により、アッケシソウの知名度が上がったことや、季節ごとの美しさにも惹かれ、アッケシソウ自生地は、多くの観光客が訪れるスポットとなりました。また、地元の方や市民皆様も「本州唯一の自生地」という誇りが強くなっていることと思います。

これからも、貴会の活動を支援させていただきますとともに、アッケシソウの魅力が益々広まりますことを祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

## アッケシソウを守る会

顧問 花房 泰志

一、ご支援の皆様へ心からの感謝  
この度、「アッケシソウを守る会」第三代会長を退任させて頂きました。実は一昨年より、右足の膝の軟骨摩擦のため膝が痛み、草刈などが出来なくなりました。家の稲作も昨年から止めてしまい誠に残念な思いです。

会長在任中は、作業会員の皆様を始め地域の浅口清掃センター、おかやま山陽高校の生徒、浅口市少年スポーツ団、寄島小学校・中学校の皆様方の献身的なボランティア活動による草刈清掃等のご協力に助けられ、アッケシソウは年々美しく整備拡充されてまいりました。

そして笠岡東ロータリークラブからのご厚志、市内企業等賛助会員からのご厚志、守る会一般会員の皆様のご支援ご協力を賜わり、心からの御礼を申し上げます。

さらに、岡山理科大学名誉教授星野卓二先生の専門分野からの的確なご指導を頂き、先生自らも草刈作業にご参加下さり、誠に有り難いかぎりです。

さらにまた、浅口市当局からのアッケシソウへのご理解とご支援に支えられ

て、会員一同元気を頂いています。今年度は、A地区一帯への海水の流入施設と強固な擬木の見学椅子三脚を設置して頂きました。その結果、今年度A地区一帯のアッケシソウの繁茂は豊かで、天敵の葦の群生も減少しております。

このような浅口市の宝物アッケシソウに寄せる皆様方のご理解ご支援に対し、心からの御礼を申し上げます。

### 二、守る会十八年の歩みから

今を去る十八年前の平成十五年、寄島町干拓地内でアッケシソウの小さな群生地（現在のアッケシソウA地区内）が発見され、翌平成十六年、寄島町の天然記念物に指定し、同時に「アッケシソウを守る会」を四十四名で結成し、保護活動が開始されました。

初代会長の応本圭司氏は、専門分野の知識を生かし、熱心に会をリードされました。当初アッケシソウが絶滅危惧種ということ、作業中会員がうつかりアッケシソウを踏んだりすると「アッケシソウを踏んどるが！」と大喝されました。その厳格な姿勢にアッケシソウへの深い愛情が感じられました。

守る会の視察研修で、遠くへ出かけたのは平成十七年九月二十七日、会員十七名の参加で、北海道の厚岸町や能取湖を訪ねました。残念ながら、厚岸湖牡蠣島のアッケシソウは全滅しており、湖の土を近くの丘に放置した場所にわずかに生えていたアッケシソウを見学しました。

翌日、網走市能取湖のアッケシソウを訪ねると、広大な浅瀬に鮮やか深紅のアッケシソウが渺々と繁茂し、多勢の観光

客が観光バスで訪れていました。能取湖のアッケシソウは市の観光組合の管理であり、やや違和感を感じて帰りました。

次は韓国仁川のアッケシソウ研修旅行で、平成二十四年九月二十四日、参加者は九名。岡山理科大学の星野卓二先生のDNA鑑定で、寄島のアッケシソウと仁川のアッケシソウのDNAがほぼ一致したことから視察旅行でありました。

遠路をせつかく訪ねた仁川のアッケシソウは、この年襲来した三度の台風によって全て流されていました。やむなく市内でアッケシソウを育てている人を訪ねたことと、韓国ではアッケシソウを料理する店があることに驚きました。

次に平成二十五年の守る会一〇周年記念行事に触れます。星野先生が言われる「守る会の継続はなかなか難しく、長く続く寄島のアッケシソウを守る会は優秀ですよ。」の言葉にはげまされ、今年で十八年を迎えました。記念行事では、アッケシソウ案内パネルの除幕、感謝状の授与、一〇周年記念「アッケシソウフォトコン」などを行い、記念の会を盛り上げました。

### 三、官民総力結集の保護活動

寄島町アッケシソウの保護活動は、決して会員だけの力によるものでなく、まさに官民一体となったボランティア活動であります。このような活動によって、アッケシソウは確実に保たれ、今年も緑のアッケシソウが秋風に美しく煌めいています。そして、アッケシソウの間もなく美しい紅の絨毯に彩られる日が近づいてまいりました。

# アツケシソウを守る会 と今後の課題

寄島アツケシソウを守る会

会長 藤 沢 福 夫

## 会長就任のご挨拶

この度、花房泰志前会長より会長職を引き継ぎ、四代目会長に就任いたしました。今日までの三代の会長の業績を汚すことなく、会長という大任が務まるだろうかと、不安と緊張感を抱いての出發となりました。

栗山康彦市長並びに浅口市教育委員会のご理解とご支援、岡山理科大学星野卓二名誉教授のさらなるご指導を賜わりますようお願いいたします。さらに、顧問のお二人からの忌憚なきご鞭撻、守る会の皆様方の心合わせての活動をどうぞよろしくお願いいたします。

浅口市の宝物、貴重な天然記念物アツケシソウを守り抜き、次代へしっかりと継承していききたいと思えます。

## アツケシソウの今後の課題

平成十五年、寄島干拓地内でアツケシソウが確認されてから、早くも十八年が経過しました。アツケシソウに熱い思いを寄せる市当局のご理解と温かいご支援、各方面からの献身的なボランティア活動といった周囲の皆様方のご支援によって、アツケシソウは広大な景観を誇り、岡山景観百選の名譽を賜りました。

しかしながら、厳しさを増す地球温暖化、とりわけ今年のように三十五度を超す連日の猛暑の中で、アツケシソウはど



こまで耐え得るのか、誠に心配であります。そのうえ、コロナの影響で、三年連続でのアツケシソウ祭りの中止は、とても残念に思います。

次に、年々高齢化による作業会員減少の現状をどう克服し、さらなる保護活動の展開をどうしていくか、企業賛助会員を増やすか。これらの課題にしっかりと取り組むたいと思えます。

## 中国・四国支部水環境活動賞・受賞

公益社団法人・日本水環境学会中国・四国支部より、長年にわたり、「アツケシソウを守る会」会員が、浅口清掃センター社員、おかやま山陽高校生徒、寄島小学校児童・寄島中学校生徒、浅口市スポーツ少年団の皆さんと連携して、アツケシソウ自生地の草刈りと回収、そして生育状況の観察など、長年保護活動に取り組んでいることが評価されたものです。

## アツケシソウ自生地の生育保護に向けて水路完成



浅口市教育委員会は、A地区の観賞エリアの一角に、深さ二・四十センチメートルの堀を設け、湧き出る海水を流す水路（長さ四十三メートル、幅・高さ十五センチメートル）を設置しました。

この設備は海水の干満差を利用して水路に流入させ、「堰」を利用してあふ



れさせ、アツケシソウの自生地に海水を供給するもので、これまで淀んで生育を阻んでいた有害物質等が駆除されることにより、土壌環境が改善され、アツケシソウの生育保護、環境保全に効果を上げることと思います。

これまで以上に広がっていくアツケシソウの様子を是非、ご観賞下さい。

## 守る会、期待の草刈機

「アツケシソウを守る会」にとって、頼りとなる「草刈機」を購入しました。

この草刈機は歩行タイプで、雑草を刈り取りながら、その草を粉碎していくため、我々高齢者にとって頼もしい機械です。

現在、共同及び個人で使用している草刈機では草刈りの必要な範囲が広い事もあって、体力的にも非常にこたえる作業となっておりま

す。この草刈機がおおいに我々を助けてくれています。



## 「企業等賛助会員」

アツケシソウを守る会の活動資金充足のため、今年度も企業賛助会員をお願い致しました。そして三十四の企業・病院・金融機関・商店等からのご協力、ご支援をいただきました。心から感謝そして御礼を申し上げます。アイウエオ順列記

アキタ帽子㈱

荒川電気工業所

荒川モーターサービス

池田歯科医院

㈱一力興業

印刷のよこやま

垣内フオトスタジオ

笠岡信用組合

寄島支店

㈱カネシン

㈱川崎商会

㈱吉川隆泉堂

金光病院

齋藤教材㈱

齋藤産業㈱

㈱さぬぎや

J A 晴れの国

岡山寄島支店

しろやま歯科

クリニック

(有)管呉服店

すくすくこども

クリニック

(有)西備サービス

セイブスポーツ

(有)妹尾溶接

高山医院

中央ガス㈱

中備化工(有)

ドレンシー㈱

㈱ニッペコ

㈱美星ミート

医療法人 福嶋医

院

㈱ミヤケ建設

医療法人 みわ記

念病院

㈱めぐみ

山下農機商会

医療法人 よりし

ま中西医院

## アツケシソウA地区展望台 周辺に見学用ベンチの設置

浅口市教育委員会は、展望台の樹木の近くに休憩場所として、見学用ベンチを三基設置しました。

このベンチは、アツケシソウを見学する方々に一息入れてゆっくりと観賞していただきたいという思いで据え付けました。A・B地区を広い範囲に見渡していただけるものと思います。また遠目には、遊水池に浮遊する多種類の水

鳥の群れを見る事ができますので、自然を満喫していただけるものと思います。



## 浅口市寄島小学校児童の アツケシソウ学習

九月八日、寄島小学校五年生の児童二十八名がアツケシソウ自生地を訪れました。

児童達の中には、初めて見るアツケシソウに興味津々で、アツケシソウの生立ち、生育状況、緑・紅葉のアツケシソウ、そしてこれからの課題等について、「アツケシソウを守る会」の藤沢会長からの

説明を懸命に聞き入っていました。本州唯一の自生地であり、一年

間通して生長していく様子を観察・学習して、次の五年生の皆さんに引き継いでもらいたいと思います。



## 「アツケシソウを守る会」 からお願い

私達、守る会の作業会員は、現在十数名となり、体力的にも草刈り作業が困難となりつつあります。

その様な厳しい中、浅口清掃センター社員、おかやま山陽高校サッカー部・空手道部・ユネスコ部の生徒、寄島小学校児童、寄島中学校生徒、浅口市スポーツ少年団の皆さん達、若い力に助けられています。そして元気をいただいています。

我々守る会は、浅口市内外の皆さんの作業会員・賛助会員の入会を心よりお待ちしております。申込みは、浅口市ふれあい交流館「サンパレア」事務室で受付けています。会費は年間千円です。ご入会をお待ちしています。

## 編集後記

「アツケシソウ通信第十二号」をお届けします。

今年、九月十日に「緑のアツケシソウを楽しむ会」が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止対策により、昨年に引き続き中止する事になりました。見学を心待ちにされていた皆様には残念な事となりました。

そして今年も「アツケシソウ祭り」は「紅葉のアツケシソウ一般公開」として開催します。

期日は十月十五日〜二十四日です。「アツケシソウを守る会」会員は、見学者の皆様をお迎えし、ご説明する事が出来ませんが、是非、紅く色づいたアツケシソウを見学に来て下さい。